

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.68

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!

今月の紹介団体 *****



2面

こねくとういず
“ワクワク湧く”大泉事務局
小山 綾子(こやまあやこ)さん



3面

お茶の間ネット
中島 加代子(なかじまかよこ)さん



資金獲得につながる ビジネスプランの作り方

受講生を 募集します

地域で活動していくために必要となる「資金」の調達に悩む団体は多いのではないのでしょうか。

この講座では、専門家と一緒にビジネスの観点で活動を考え、長期的に活動していくための収益力を身に付けます。

【定員】20名(先着順)

【対象】資金調達を課題としている団体の方、収益化を目指している団体の方等

【申込み】①講座名 ②氏名 ③電話 ④メールアドレスを、1月13日(金)までに電話・メールで
協働推進課カレッジ担当係へ

【日時】1日目：1月18日(水) 14時～16時
2日目：1月26日(木) 14時～16時
※2日制

【内容】様々な資金調達方法を学ぶほか、ビジネスプランの作り方を理解し、地域での活動を計画的に考えます。

【場所】Coconeri研修室2

【講師】三谷 誠一(こうし) (嚆矢工房 代表)

ポータルサイトからも申し込めます→



【問い合わせ】協働推進課カレッジ担当係 TEL：03-5984-1613 E-mail：KYODOSUISHIN04@city.nerima.tokyo.jp

自分自身に向き合える、ママのための“お話会”

こねくとういず“ワクワク湧く”大泉事務局



事務局長の小山 綾子さん

「練馬から日本のママを元気に」を目標に、子育て・介護世代のママたちに学びの機会を提供している「こねくとういず」。2022年3月、地域の拠点の第一歩となる大泉事務局が発足しました。

その場所を提供し運営しているのが、こねくとういず企画事業部の小山さん。毎月1回、子育てや介護、自分の家族や夫婦、ママ友のことなど誰にも話せない悩みを吐き出せる場所として、



ソーイングルームPALMで開催している「大泉お話会」の様子

ママたちのための“大泉お話会”を開催しています。定員4名で参加費は1回500円。ここでは「自分」を主語にし、自分の体験と感じたことを話すだけ。話したくなければ聞いてくれるだけでもOKです。

「私たちはただ、相手の話を最後まで聞くだけです。否定もアドバイスもしません。そうやって話を聞いてもらったママたちは、子どもや家族の話を聞けるようになるんです」と進行役を務める小山さんは言います。

こねくとういずとの出会いは2020年3月。コロナ禍で一斉休校となり自身の子育てで悩んでいた時、オンラインの講座を受

講して気持ちが楽になったのだそう。このことをきっかけにリピーターとなり、イベントのボランティアスタッフを経て運営メンバーに加わりました。

こねくとういずが区内に拠点を探していると知ると、小山さんは自



こねくとういず主催の講演会はいつも大盛況!

身が主宰する「ソーイングルームPALM」の場所を月に1回、お話会のために開放することに。普段は、ママや子どもたちに裁縫を教え、手作りの感動を伝えている場所ですが、

かつての自分と同じように、悩んでいるママたちの助けになればと願い、提供を決めたと言います。

得意分野を活かしながら仕事をし、さらに地域活動も行っている小山さんは、

「ママたちは自分のことを後回しにしがちですが、ママの幸せは家族に伝わりますから、自分の希望や幸せを大切にしてほしいと思います」と、思いを語ってくれました。お話会は自分と向き合う大切な時間。悩みがある人もない人も、気軽に参加してみたいはかがででしょうか。新たな気付きがあるかもしれませんよ。

■こねくとういず
“ワクワク湧く”大泉事務局
事務局長：小山 綾子
メール：connectw0180@gmail.com
Instagram：@connectw0180
(お話会の申込みはこちらから)
@sewing_palm(ソーイングルームPALM)

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■公益財団法人 杉浦記念財団

【第12回 杉浦地域医療振興助成(活動分野)】

【助成対象】医師、薬剤師、看護師等の医療従事者、および介護福祉従事者等の多職種が連携して、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の推進に寄与する活動

【助成金額】1件あたりの上限額：50万円

【応募期限】2023年2月28日

【関連URL】<https://sugi-zaidan.jp/smf/reward-new/>

【問い合わせ】公益財団法人 杉浦記念財団
〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62-1
TEL：0562-45-2731(平日9時～17時)

E-mail：prize@sugi-zaidan.jp

■大竹財団助成金

【助成対象】公益、社会問題の解決に取りくむ事業をおこない、日本国内に事務所または連絡先をもつNPO、任意の市民団体、ボランティアグループ

【助成金額】1件あたりの上限額：50万円

【応募時期】通年

【関連URL】<https://ohdake-foundation.org/>

【問い合わせ】一般財団法人 大竹財団 事務局(担当：関盛)
〒104-0031 中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階
TEL：03-3272-3900
(平日9時30分～12時/13時30分～17時)

地域でいつまでも健康に楽しく暮らしたい

お茶の間ネット



代表の中島 加代子さん(右から3人目)と「満咲くの会」の運営メンバーの皆さん

いざという時に支え合えるよう、地域で顔の見える関係を築くための茶話会を開いているのが「お茶の間ネット」です。現在は桜台地域の「澗の会」と早宮地域の「満咲くの会」を月に1回ずつ開催。コロナ禍のため、昼食やお茶などの飲食を伴うおしゃべりは中断していますが、手話ソングやフラワーアレンジメント、手品、演奏会など、毎回趣向を凝らした企画が好評を博しています。



手話ソングサークルをゲストに迎え、手話を覚えたり、歌を歌ったり。楽しみながら脳を活性化

代表の中島さんが「お茶の間ネット」を立ち上げたのは、2007年9月。認知症の家族会「木瓜(ぼけ)の花」も運営する中島さんが、「認知症の家族がデイサービスを嫌がって行ってくれない」という会員の切実な声をもとに、認知症になっても通える地域の居場所を作ろうと思ったのがきっかけでした。

ほとんどの会員が70代~80代。かつては1回で30名近く集まることもありましたが、コロナで会員は半減。今は認知症予防の活動が中心ですが、「退職後、地域で誰かと話したかったので」に参加するようになった人も。

「ただ座っているだけでなく、一緒に体を動かしたり声を出したりして全員が参加できるように工夫を凝らしています。これからの人生を豊かに過ごすためには、健康でいることが何よりも大切です」と中島さん。

茶話会に招くゲストは、中島さんが自ら歩いて探し



フラワーアレンジメントの様子。茶話会の存在は皆の元気の源です

てきたり、人とのつながりで紹介してもらったり。公園で草笛を吹いている人に声をかけて招いたこともあるそうです。運営メンバーの皆さんは、「とにかく人のことを思い、人を喜ばせたいという気持ちが強い」、「体力が続く限り協力したいと思わせてくれる人柄」と、中島さんのことを大絶賛!

「皆さんが楽しんでくれると、私も楽しいんです。ここまで続いているのも、仲間と出会って皆が支えてくれたから」と中島さん。高齢者が自分の住む地域で茶話会に参加できるように、開催エリアを増やしていきたいと展望を語ってくれました。そのために、参加者を増やして会を継続していきたいとのこと。1月の「澗の会」はアコーディオン演奏、「満咲くの会」はフラワーアレンジメントが予定されています。興味のある方は下記に連絡のうえ、ぜひ参加してみてください。

■お茶の間ネット

代表：中島 加代子

TEL：03-3992-8316

メール：222tora@jcom.home.ne.jp

澗の会：第4火曜 桜台地域集会所

満咲くの会：第3水曜 早宮地区区民館

■一般財団法人日本メイスン財団 助成金

【助成対象】福祉、医療、教育、芸術など様々な分野で、社会的弱者および障がい児(者)を対象に活動している団体、法人に対し、機器、施設の改善、備品の購入など、活動に必要な資金を援助します。特に子どもを対象とする直接的支援プロジェクトを支援します。

※2年以上の活動実績のある非営利法人、慈善団体(個人および営利法人は除く)が助成対象

【助成金額】財団が承認した額

【応募時期】通年

【関連URL】<http://www.masonicfoundation.or.jp/guidance.html>

【問い合わせ】一般財団法人日本メイスン財団 慈善事業係
〒105-0011 港区芝公園4-1-3 TEL：03-3431-0033

■公益財団法人ノエビアグリーン財団「助成事業(団体)」

【助成対象】児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している、以下①~⑨の分野に当てはまる団体。

①スポーツ体験活動 ②ジュニアアスリート選手育成活動

③自然体験活動 ④科学体験活動 ⑤地域に根ざした子供たちへの支援活動

⑥障がいのある子供たちへの支援活動

⑦自然災害等による被災地の子供たちへの支援活動

⑧児童養護施設の子供たちへの支援活動 ⑨その他の体験活動

【助成金額】1件あたりの上限額：300万円

【応募期限】2023年2月28日(正午)

【関連URL】<https://www.noevirgreen.or.jp/grants/organization/>

【問い合わせ】公益財団法人ノエビアグリーン財団 事務局

TEL：03-5568-0305(平日9時~17時30分)

E-mail：noevirgreen@yoshida-p.co.jp

練馬つながるフェスタ in 光が丘を開催します!

1月21日(土) 13時~15時
光が丘区民センター2階 集会室

「練馬つながるフェスタ(つなフェス)」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の日頃の取り組みを見て・聞いて!知って!たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。練馬つながるフェスタ in 光が丘では、ワークショップを行います。
ワークショップの詳細内容は練馬区公式ホームページをご覧ください。



詳細はこちら



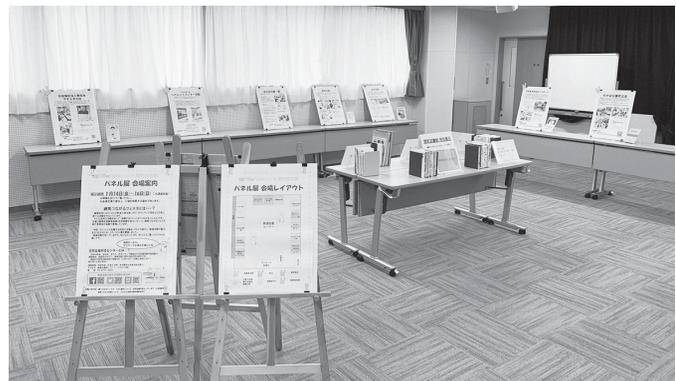
今後の練馬つながるフェスタの開催日

3月4日(土) ココネリホール

地域活動パネル展を開催します!

春日町図書館	12月16日~12月21日
石神井図書館	1月6日~1月15日
大泉図書館	1月11日~1月29日
南田中図書館	1月11日~2月5日
平和台図書館	1月17日~1月29日
小竹図書館	1月21日~1月26日
光が丘図書館	1月24日~2月5日
貫井図書館	1月24日~2月26日
関町図書館	2月3日~2月5日

地域で活動する町会、NPO、ボランティア団体の活動の魅力を伝える地域活動パネル展を開催します。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



詳細はこちら



練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



<https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時(12/29~1/3は休業)
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL:03-3577-5666